



商品の納入から交換、清掃、 中間処理まで一貫体制を構築



(株)金谷興油

代表取締役 金谷 晴好氏 (太田支部所属)

Q & A

▼会社紹介

当社は、昭和五十九年六月に創業。製造業の皆様の要望にお応えし、金属加工油を中心に提供してまいりました。

平成元年には産業廃棄物収集運搬業の許可を取得し、各種収集運搬車両を取り揃え、交換作業等を通じて営業のノウハウを蓄積してまいりました。

そして平成二十年五月には、念願の中間処理工場を大泉町に操業するに至り、商品の納入から交換作業、中間処理までの一貫体制をとり、今まで以上のトータル・ソリューションサービスを提供できるようになりました。

また、新たな展開を目指して平成二十六年には長野県上田市に営業所を開設。配送センターも完成するなど、様々な準備が整ったことから、長野支店としてスタートしています。

▼創業当時のエピソード

私は約二十年間、叔父が経営する足利の石油製品販売会社に勤めていました。業績不振の会

社と合併するなど事情も変わったことから独立の道を選び、地元に戻って創業しました。

後発で新規参入するのはとても大変でした。そこで「今後は必ずこちらが主流となるはず」と、水溶性の切削・研削油を中心に金属加工油剤を取り扱ってきました。

まだ油性が中心で水溶性の使用が少ない時代でしたが、ユーザーの設備が自動化され、無人化に向かっていましたので、水溶性が主流になると確信しました。

とサービスに重点を置いてきたことで今日、三十三期目を迎えられていると思っています。

▼「一貫体制」が強み

当社の強みは、工業用油剤の販売から、交換、清掃作業、廃油処理サービスまで、自社で一貫体制を構築していることにあります。

取り扱っている油剤は多種に及びますが、お客様の製造品目に合わせて最適な商品を見極め、提案するように心がけています。また最初は試験的に使用してもらい、結果を見た上で導入を判断してもらっています。

またお客様のニーズに合わせ、浮上油回収機など、油剤の周辺機器も取り扱っています。

こうした当社の納入パッケージを通して、油剤の最適化、タイムリーな製品供給による在庫の削減、加工機械タンクの清掃、交換作業によるダウンタイム削減、職場環境向上等、お客様の生産性向上と環境保護に貢献できる企業を目指しております。



▼今後の展望について

現在は自動車部品加工のユーザーが九〇%以上ですが、将来、エンジンが無くなってくることを考え、今後は医療機器や航空機部品等、他の業種にも目を向けて営業活動をしていきます。

また次代を見据え、産廃との比率を半々くらいにまで高めていきたいと思っておりますが、長年にわたり蓄積してきたノウハウを活かし、これまで以上にお客様に安心と満足を提供していく所存です。

所在地 / 太田市細谷町336-1
連絡先 / TEL0276-31-5384
URL / www.kanaya-oil.com